

原発のほんとのコストを聞く

大島堅一氏（龍谷大学政策学部教授）講演会

10月27（土）

開会 14:30 <会場 14:00>

会場：島根大学

教養講義室棟 1号館

1階 102 教室

（松江市西川津町 1060）

バス 島根大学前下車（15～30分）

松江市営バス…

北循環線内回り、大学・川津ゆきなど

一畑バス…

美保関ターミナル、マリンゲートゆきなど

できるだけ公共交通を利用してご来場ください



島根原発 3号機は、福島原発事故後に新しい原発として、大間原発に次いで稼働に向けた手続きが開始されました。

関係自治体は、この原発の新規制基準適合性審査への申請を同意しましたが、今、世界が「脱化石燃料」「脱原発」に向けた舵を切り始めている中、本当に島根原発 3号機は必要なのかが問われています。

この間の中国電力の説明では、長期エネルギー需給見通し小委員会の2014年モデルプラント試算結果を用いて、原発の有利性が宣伝されてきました。

一方で、様々な研究機関によって試算された原発のコストも公表されています。福島原発事故処理もいつ終了するのか見通せない現状の中、万が一の際のコストをどう見積もるのかによっても大きく違ってきます。同様に再処理や核のゴミ処理についても、その扱い方いかんによって違ってきます。

私たちの生活に欠かせないエネルギーをどう選ぶのか、考えるためには一つ一つ検証が必要ではないでしょうか。

今回は、原発のコストについて、龍谷大学政策学部の大島堅一教授をお招きしてお聞きしたいと思います。

主催：さよなら島根原発ネットワーク（連絡先：090-1336-0629 芦原）